

UN シリーズモデル 設置マニュアル

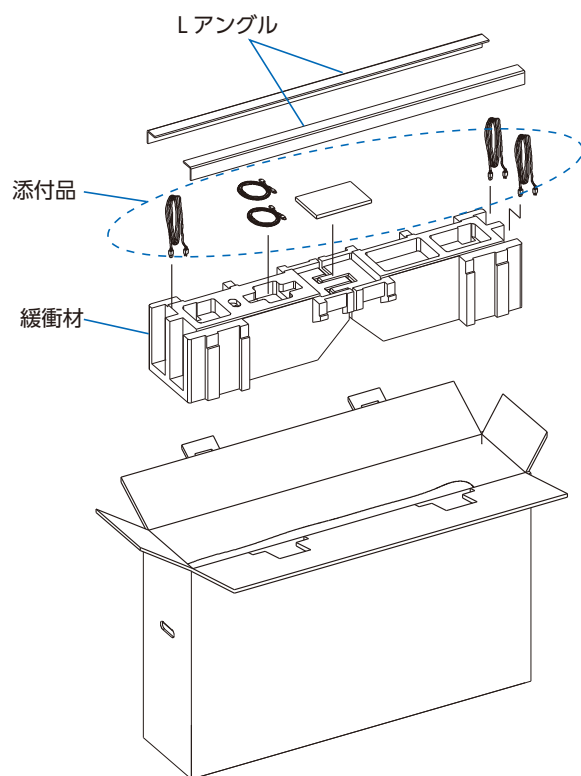
※本マニュアルは設置業者様向けの注意事項を記載したものです。
セットアップマニュアルと取扱説明書を必ずお読みください。

目次

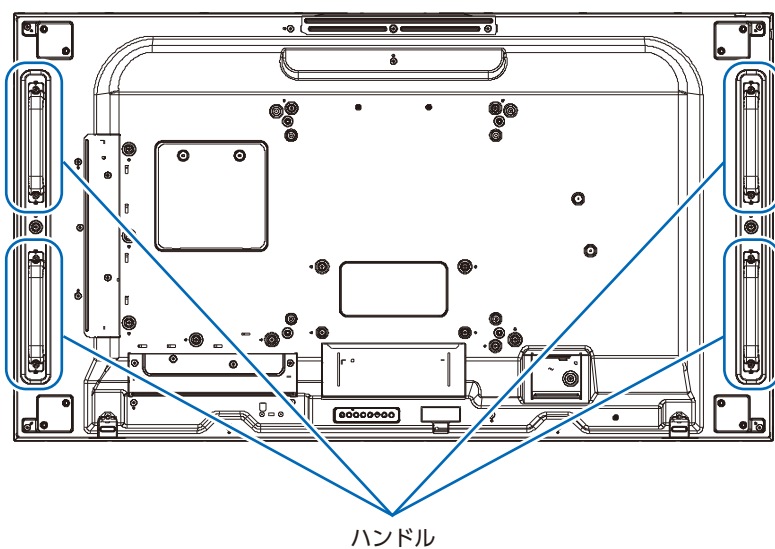
1. 開梱時の注意事項	3
2. 設置前の簡易的な通電確認.....	5
3. 設置または移動する際の注意.....	6
4. ディスプレイの外形寸法公差.....	9
5. 許容温度と設置環境.....	10
6. 壁掛け金具の取り付け	11
7. ディ스플레이クッション	14
8. 保護テープの処理	15
9. マルチスクリーン構成の設置.....	17
10. ピン、スペーサー、スペーサーシート	18
11. オプション製品の適合情報	22
12. オプション類の取り付け方法	23
13. 再梱包して輸送する場合.....	24

1. 開梱時の注意事項

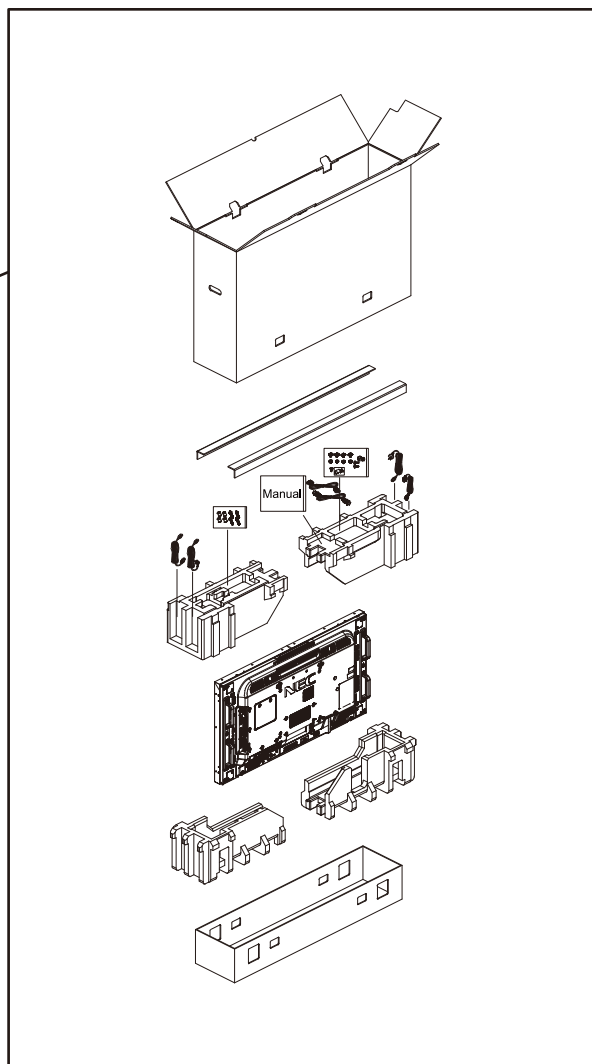
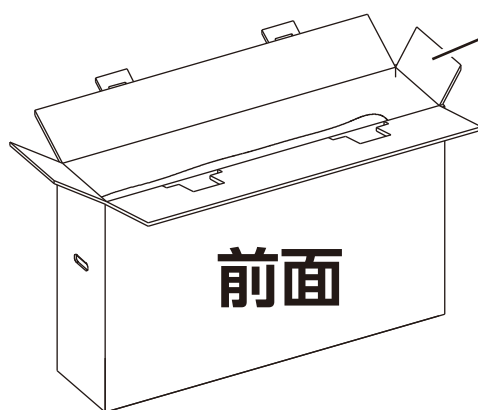
- ① ディスプレイを取り出す前に、添付品を全て取り出してください。



- ② 梱包材は破ったり捨てたりせずに、再梱包に備えてすべて保管しておいてください。
- ③ ディスプレイを梱包材から取り出す際は、必ずハンドルをもって取り出してください。

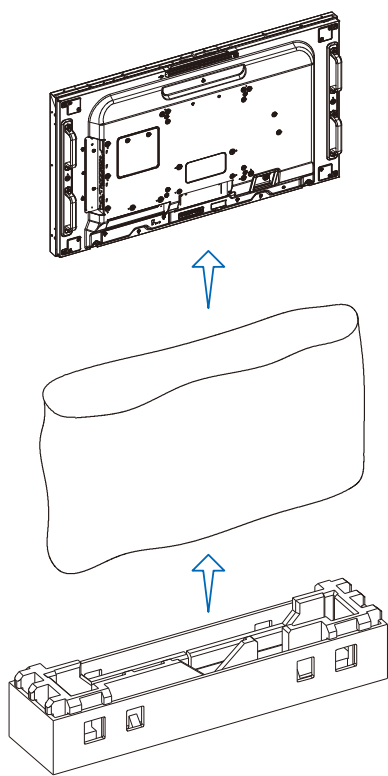


- ④ 再梱包を行う際は箱に記載されている梱包材の構成を確認して実施してください。

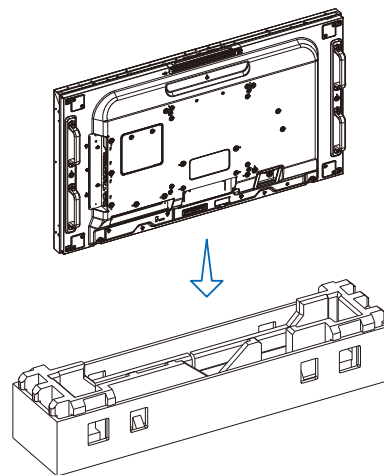


2. 設置前の簡易的な通電確認

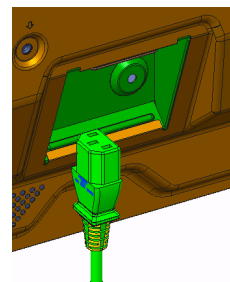
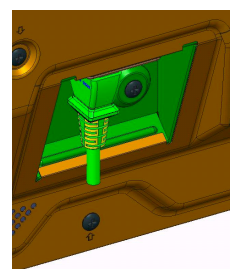
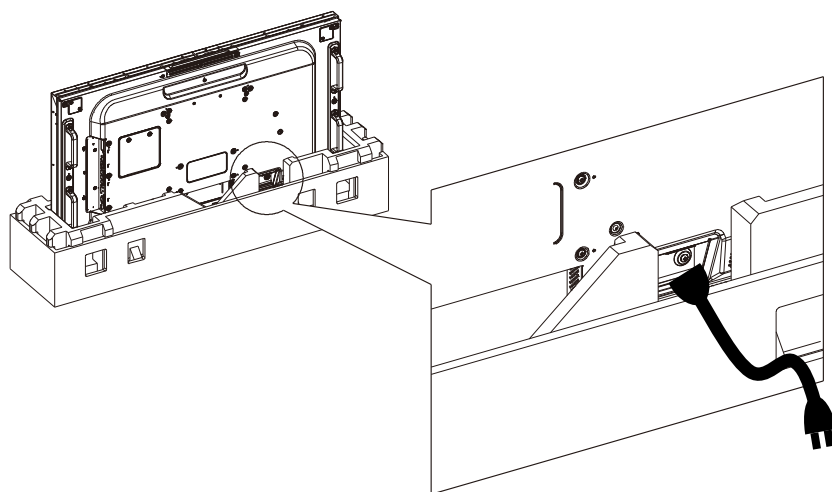
- ① 緩衝材から保護袋に入ったディスプレイを取り出してください。



- ② ディスプレイを緩衝材に戻してください。

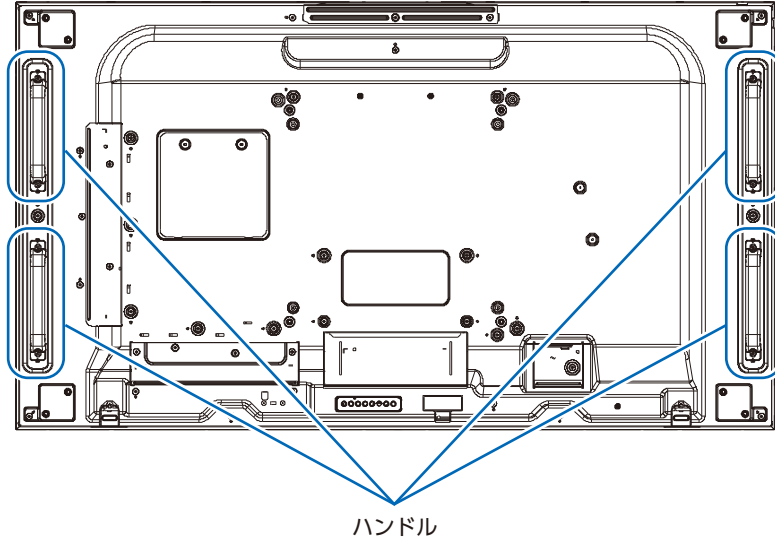


- ③ ディスプレイを緩衝材に立てた状態で、電源コードを挿入してください。
このままの状態での長時間の通電は避けてください。

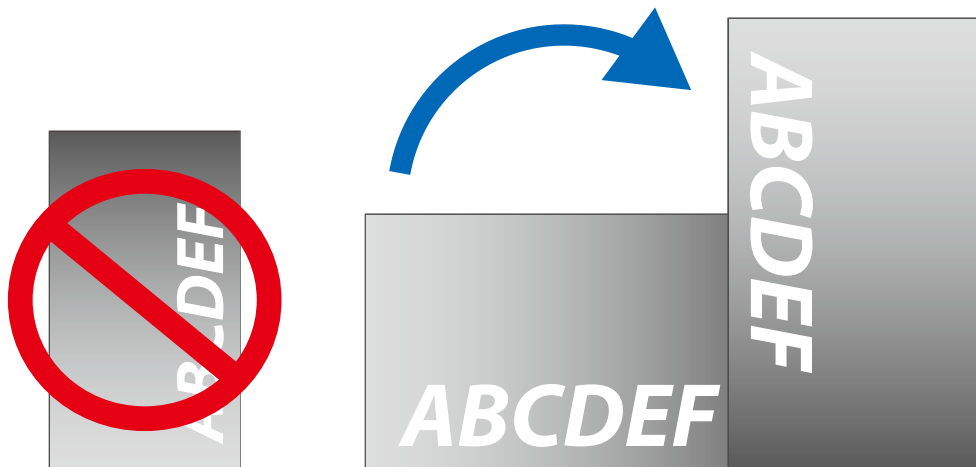


3. 設置または移動する際の注意

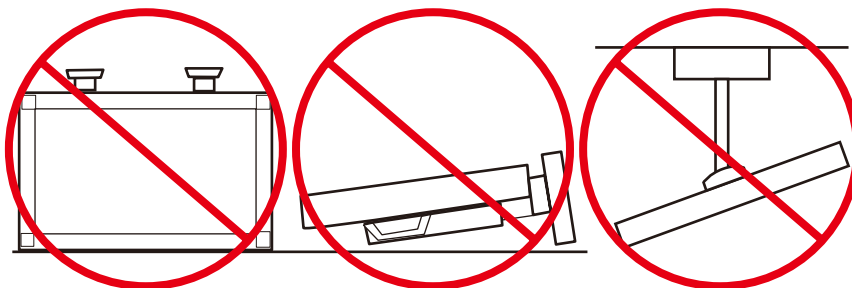
- ① ディスプレイを設置または移動させる際は、製品を伏せたり寝かせた状態でなく、立てた状態で移動させてください。また、必ずハンドルを持って移動させてください。
- ② ハンドル以外の場所は持たないでください。
- ③ 必ず2人以上で持つようにしてください。



- ④ ディスプレイを縦型の状態で使用するときは、必ず正面から見て左側面を上側にしてください。上下逆さまの設置はできません。



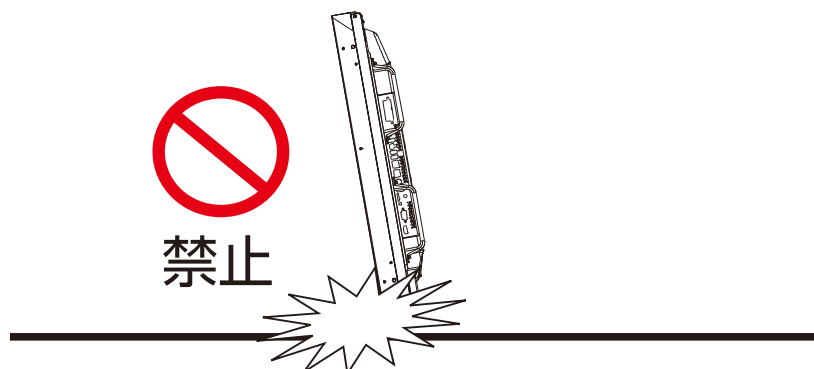
ディスプレイを傾けて設置しないでください。
上下逆さま、横倒し、画面を下向きにしないでください。画面が破損する原因になります。



- ⑤ ディスプレイの上下左右、またディスプレイの表示面には触れないでください。
特に上側と左側に圧力や衝撃が加わると画質に悪影響を及ぼす可能性があります。



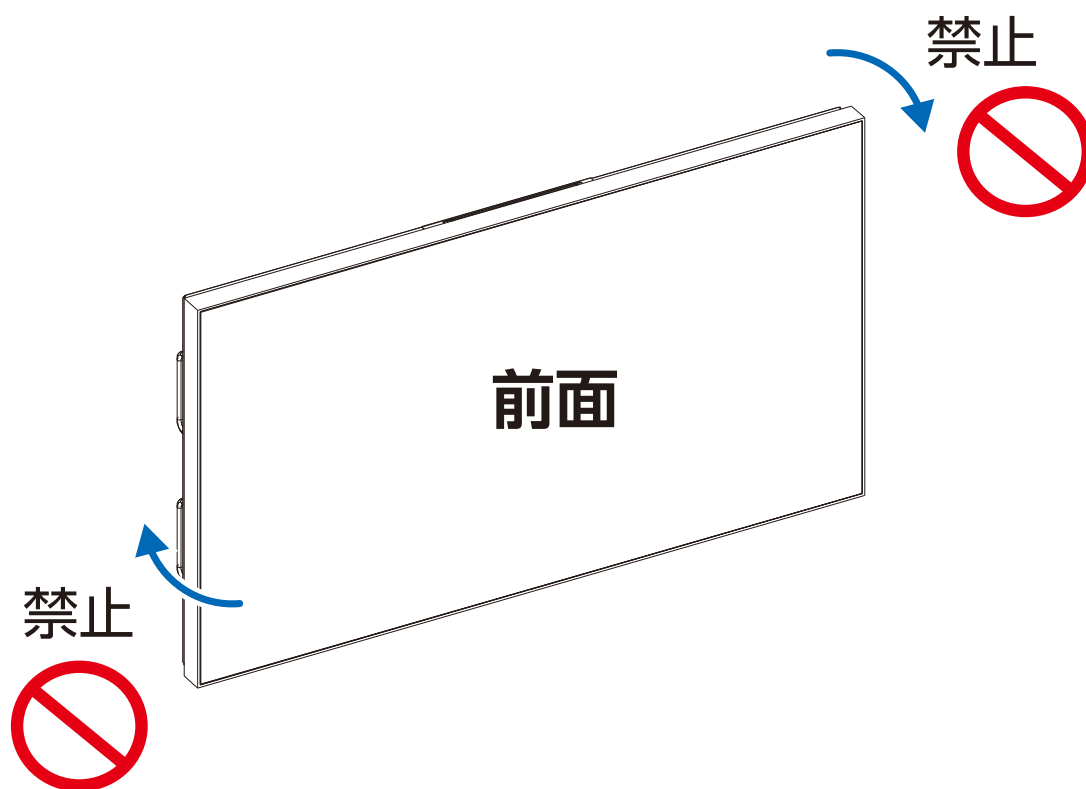
- ⑥ ディスプレイの底面、表示面を床に直接置くとディスプレイの破損につながります。
床に直接置かずに、スタンドを使用するか製品梱包を使用して立ててください。



- ⑦ マルチスクリーン構成で設置の際、ディスプレイの上側と左側には継続的に負荷が掛かる構造にはしないでください。
画質に悪影響を及ぼす可能性があります。



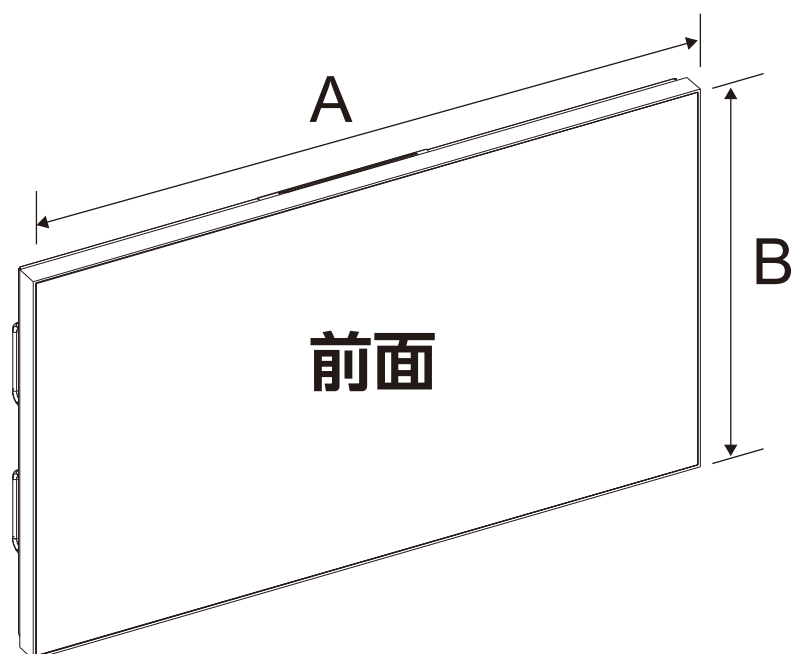
- ⑧ 作業の際、製品を捻じらないでください。



- ⑨ 振動や衝撃が加わる設置方法はしないでください。
故障の原因となることがあります。

4. ディスプレイの外形寸法公差

ディスプレイの外形寸法の公差は以下のとおりとなります。
設置の際は公差も考慮して他の構造物に干渉しない構造にしてください。

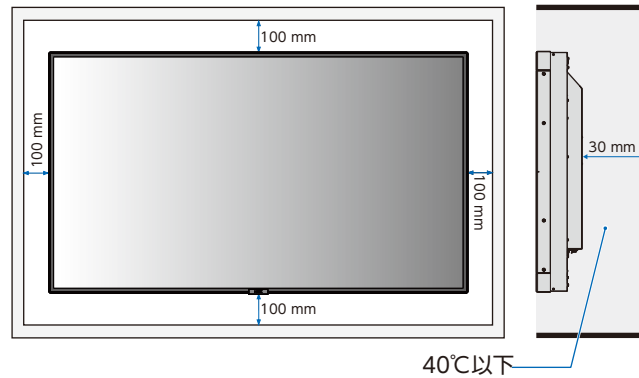


公差	
A	B
± 1.3mm	± 1.3mm

5. 許容温度と設置環境

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。

もしくは適切な冷却手段を講じてください。



ディスプレイの保証環境温度は 40℃です。

ケースなどにいれて使用される場合は、ケース内部の温度が 40℃以下になるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。

なお、ディスプレイは温度センサーおよび冷却ファンを内蔵し、内部温度が高温になると自動的に冷却ファンが動作します。

また、冷却ファンが動作しても保証温度を越える環境になると「警告」が表示されます。

「警告」が表示された環境での使用は故障の原因となることがありますので、主電源を切ってください。

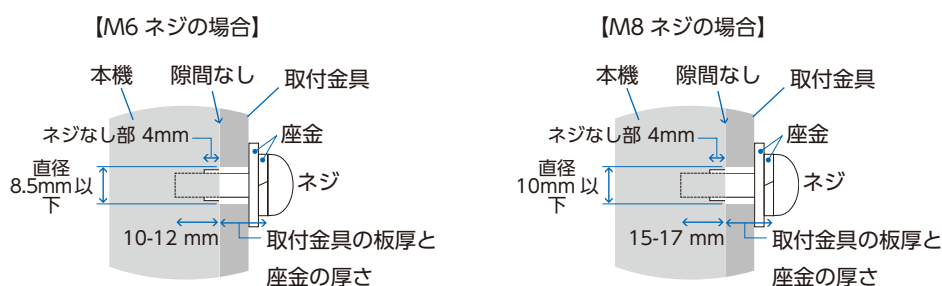
ディスプレイ内蔵の冷却ファンは動作保証温度を超えると自動的に動作するほかに、OSD メニューの「保護設定」→「ファン制御」で常時動作するよう設定することができます。

オプションボードを装着して使用する場合は、ディスプレイの動作保証温度内でもオプションボードの冷却のため一部の冷却ファンが自動的に動作する場合があります。

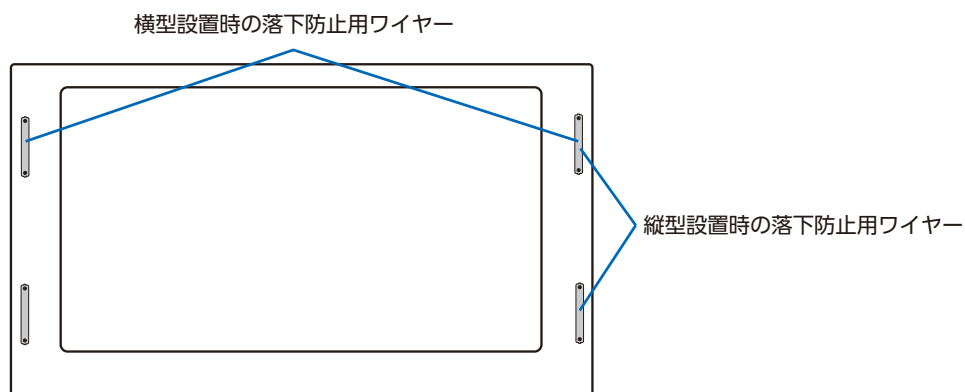
ケース内の設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合はディスプレイの内部温度上昇を OSD メニューの「保護設定」→「内部温度」で確認の上、必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。

6. 壁掛け金具の取り付け

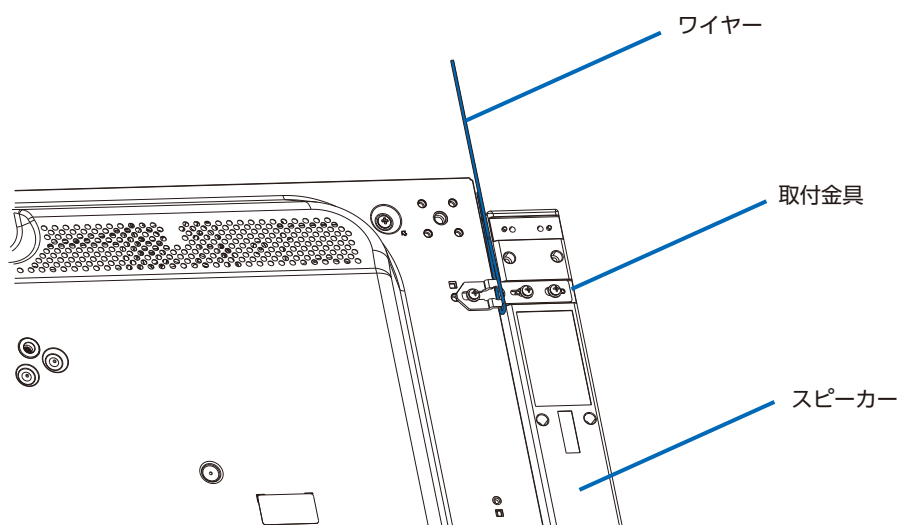
- ① 必ず VESA 規格に準拠した取付金具を使用してください。
- ② 金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
- ③ 取付金具は、ディスプレイを支えるのに強度が十分な物を選んでください。
- ④ 取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
- ⑤ 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、取付金具の取扱説明書をご参照ください。
- ⑥ 取付金具のネジ穴は M6 のネジを使用する場合は直径 8.5mm 以下にしてください。
M8 のネジを使用する場合は直径 10mm 以下にしてください。
- ⑦ ディスプレイの取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。



- ⑧ ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、安全のため落下防止用ワイヤーを設置してください。
- ⑨ 落下防止用ワイヤーのみで壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。
- ⑩ 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。
ハンドルに落下防止用ワイヤーを取り付ける場合は下図で示したハンドル位置を使用してください。
また、スピーカー金具に落下防止用ワイヤーを取り付ける場合は、下図の要領で取り付けてください。
(締付けトルク 139 ~ 189N・cm)

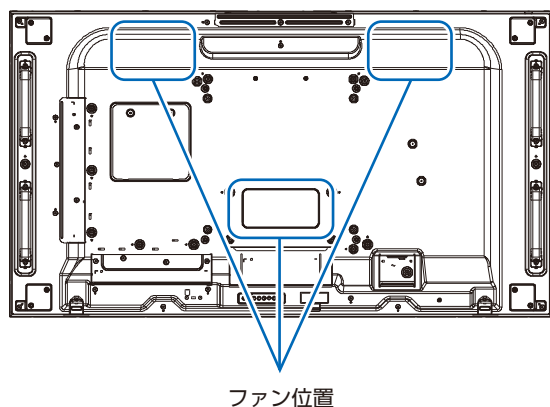


- ⑪ スピーカーが設置されたディスプレイにワイヤーを固定する場合（横型設置時のみ）
スピーカー取付金具を使用してワイヤーを固定します。

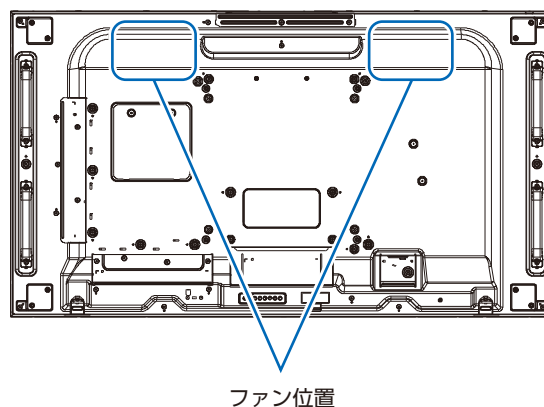


- ⑫ ディスプレイのファンは下図の位置（3箇所）に設置されています。
オプションボードを使用する際はファン3箇所、オプションボードを使用しない場合はファン2箇所の通風口を取付金具などでふさがないでください。
ファンの通風口をふさいだ環境での使用は故障の原因となることがあります。

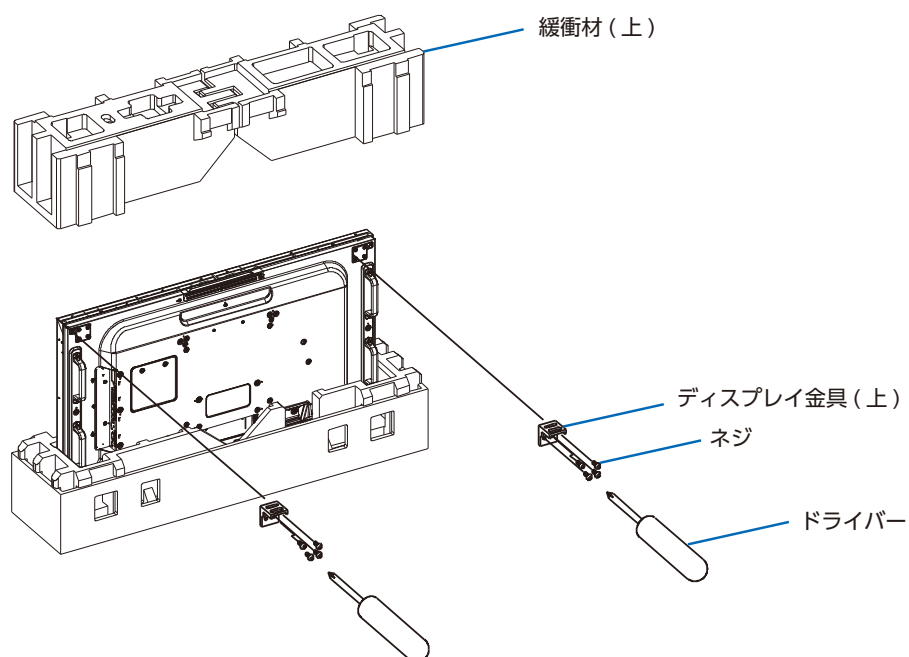
【オプションボードを使用の場合】



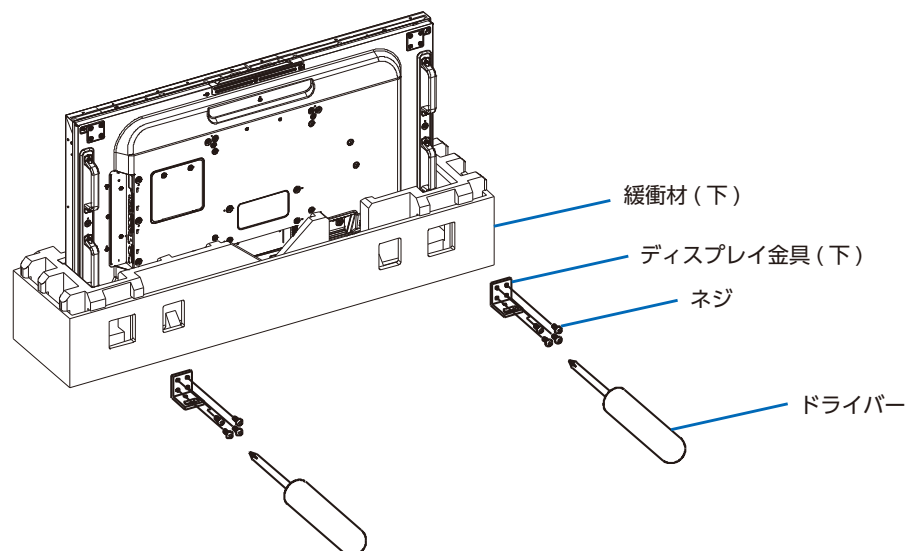
【オプションボードを使用しない場合】



- ⑬ NEC 製のウォールマウントキットを使用の場合、ディスプレイ金具（上）は緩衝材（上）を外し、ディスプレイにネジで固定してください。



- ⑭ ディスプレイ金具（下）は緩衝材（下）の穴をとおしてネジで固定することが可能です。ディスプレイを緩衝材に立てた状態で取り付けできるため、画面に傷が付くことはありません。



7. ディ스플레이クッション

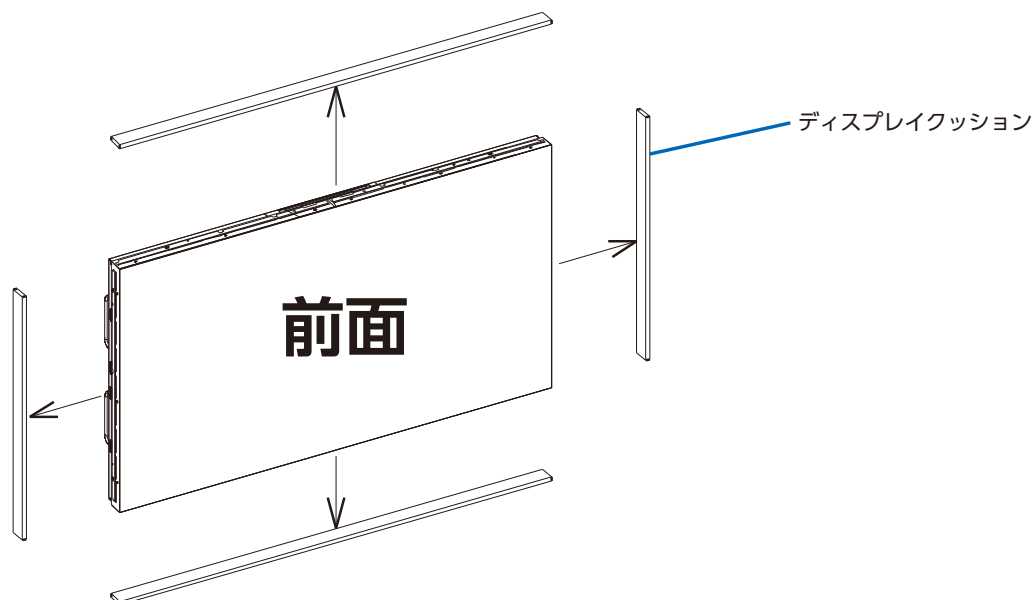
ディスプレイ周囲にディスプレイクッションが貼ってあるモデルがあります。ディスプレイクッションが貼ってあるモデルは、設置前にディスプレイクッションを取り除いてください。

その際、ディスプレイクッションはゆっくり剥がしてください。

そうしないとディスプレイの故障の原因になるおそれがあります。

再梱包に備えてディスプレイクッションは保管しておいてください。

対象機種：UN492S/UN492VS/UN552S/UN552VS

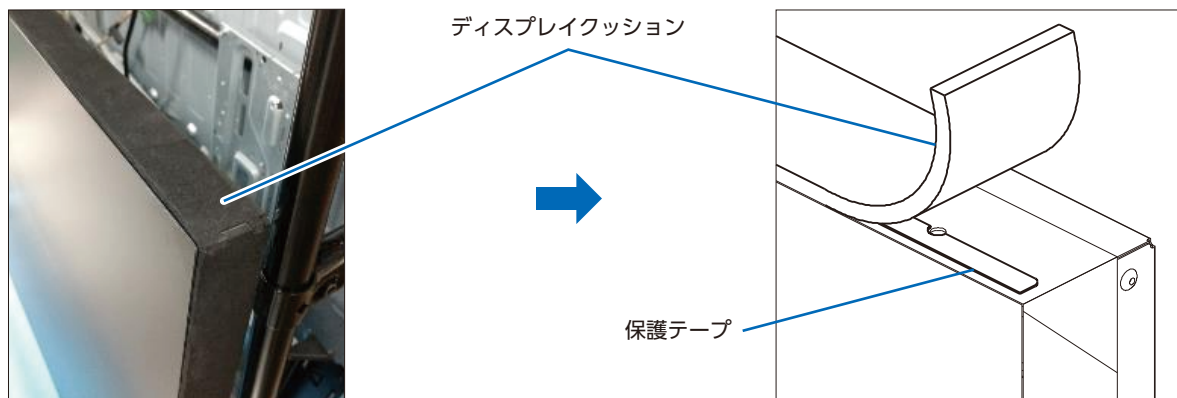


8. 保護テープの処理

設置時の衝撃緩和のために、ディスプレイの上面に保護テープが貼り付けられているモデルがあります。保護テープは以下の方法にて取り外してください。

対象機種：UN492S/UN492VS/UN552S/UN552VS

- ① ディスプレイクッションを剥がしてください。



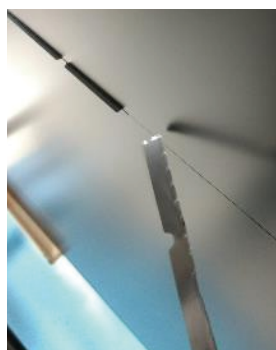
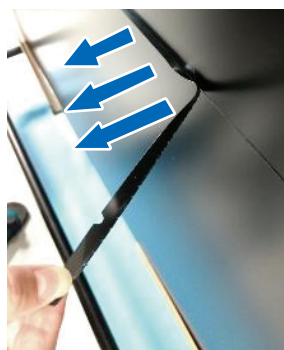
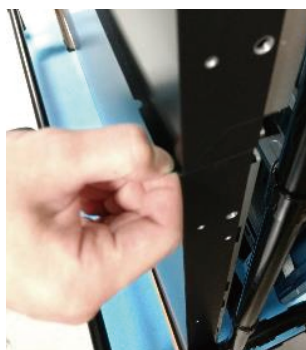
- ② マルチスクリーン設置前に保護テープを矢印の方向に開きます。



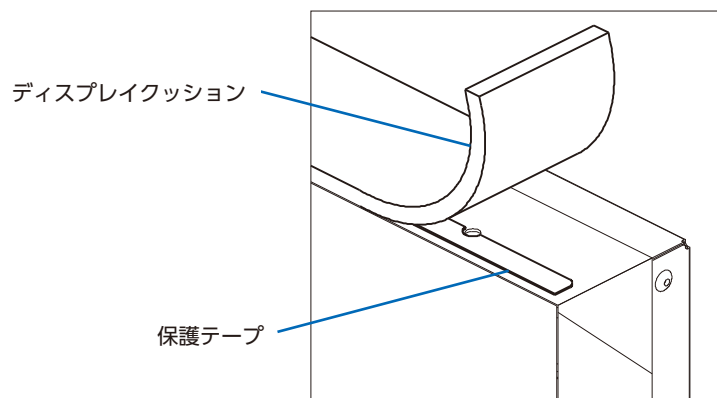
- ③ 上側のディスプレイを設置します。



- ④ マルチスクリーン設置後に保護テープの端を持ち、矢印の方向に引っ張って保護テープを切り離してください。
保護テープはゆっくり剥がしてください。そうしないとディスプレイの故障の原因になるおそれがあります。

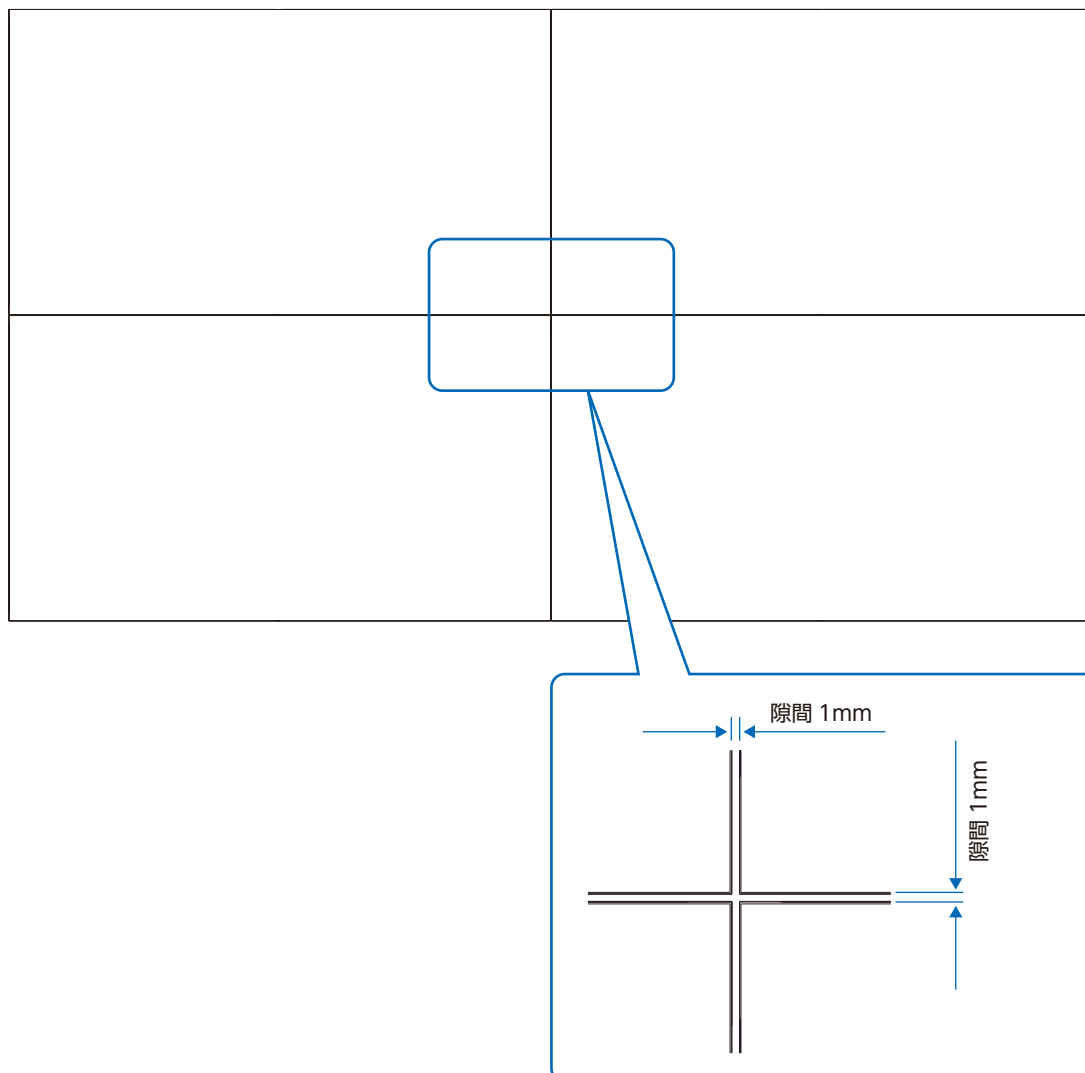


- ⑤ 保護テープは厚みが薄い為、剥がさなくてもマルチスクリーン構成での設置は可能です。
その際は、ディスプレイクッションのみを剥がしてください。



9. マルチスクリーン構成の設置

- ① マルチスクリーン構成で設置の際は、電源 OFF の状態でディスプレイ間の隙間を 1.0mm 開けてください。
なお、その場合ディスプレイ間の隙間から背面の光が漏れることがあります。
その際は遮蔽板をディスプレイの背面側に設置してください。
遮蔽板はお客様がご用意ください。



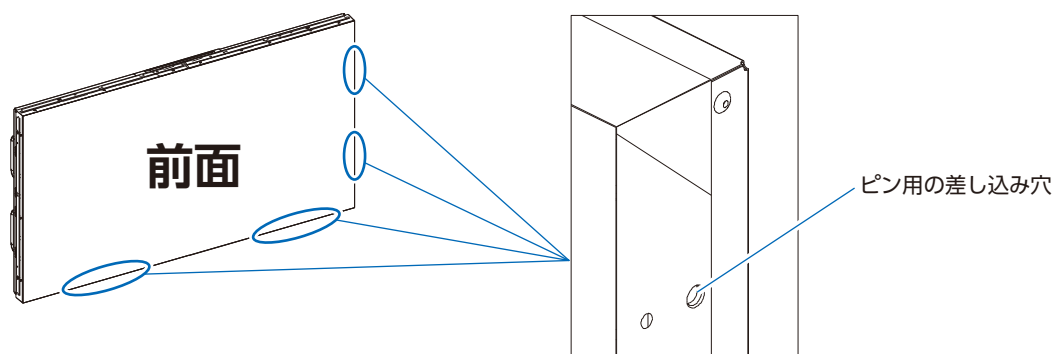
- ② マルチスクリーン構成で設置の際は下記のことにご配慮ください。
- (1) 取付金具を取り付ける壁面に凹凸が無いことをご確認ください。
 - (2) 取付金具は設置条件に対して十分な強度を有しているものを選んでください。
 - (3) ディスプレイの上側と左側には負荷が掛かからない構造にしてください。
 - (4) ケーブルの引き回しが他の構造物に干渉しない構造にしてください。
 - (5) 設置された状態でディスプレイにねじれが発生しない構造にしてください。

10. ピン、スペーサー、スペーサーシート

ディスプレイにはピンとスペーサー、スペーサーシートが添付されているモデルがあります。

ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置する場合、ピンとスペーサーを取り付けるとディスプレイ間の隙間を一定に保つことができます。

ただし、ピンはディスプレイの底面側と右側面側に直径 6mm のピン用差し込み穴が開いているモデルのみ取り付けことができます。それ以外のモデルには使用できません。また、ピンとスペーサーはディスプレイが可動するタイプの設置金具に用いることはできません（例：パンタグラフ式、スライド式）。

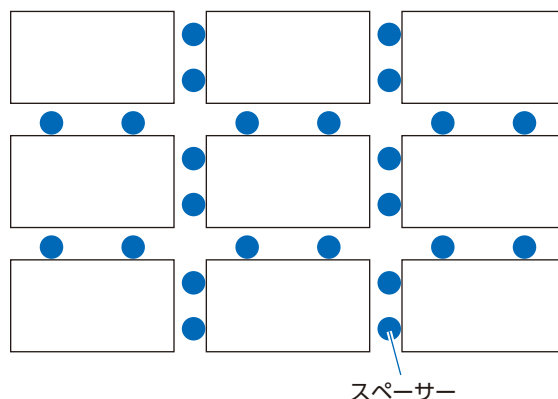
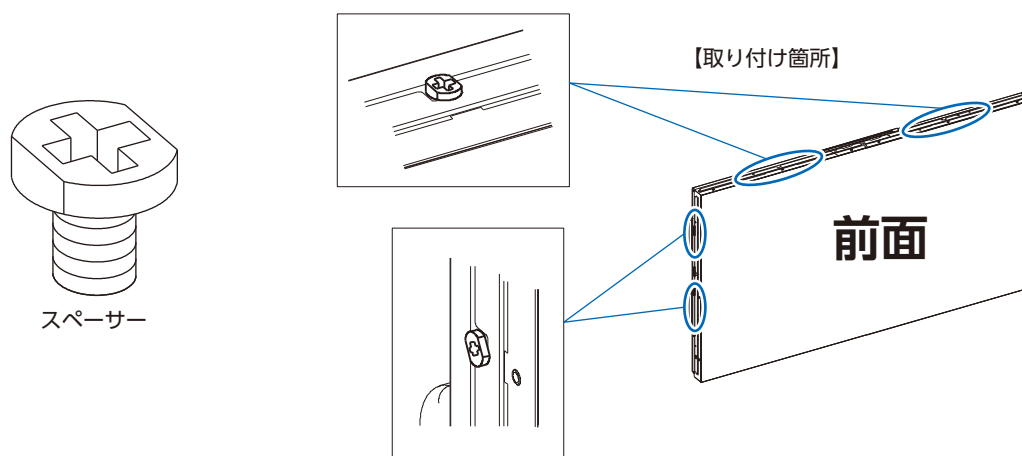


① スペーサー

ディスプレイに添付しているスペーサーはディスプレイの上側と左側のネジ穴に取り付けることができます。

マルチスクリーン構成で設置の際は、ディスプレイ同士の弱い部分が接触しないように設置できる効果がありますので、スペーサーの取り付けを推奨します。

ただし、ディスプレイが前後、または左右に可動する設置金具には使用できません（例：パンタグラフ式、スライド式）。



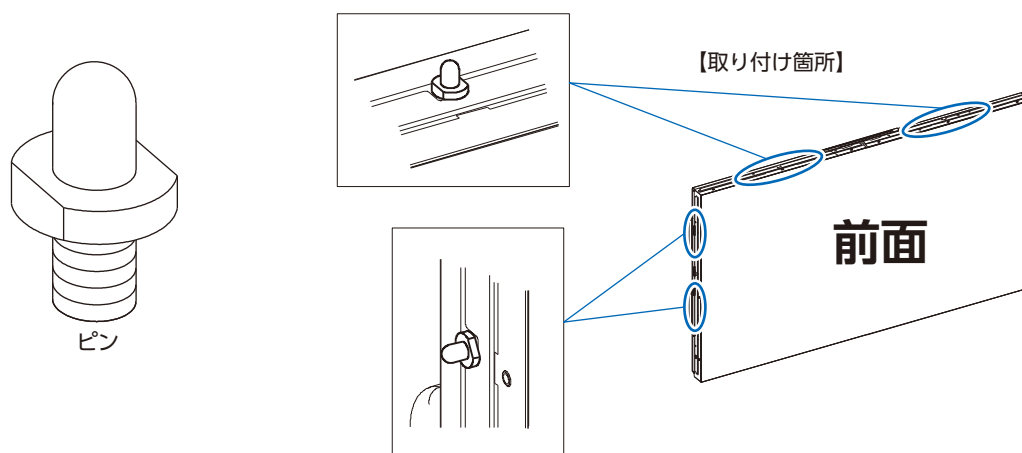
例：マルチスクリーン時のスペーサーの取り付け方

② ピン

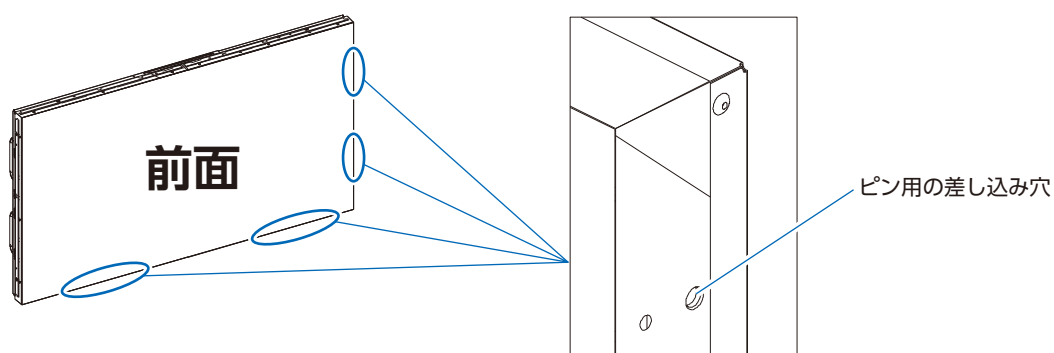
ディスプレイに添付しているピンはディスプレイの上側と左側のネジ穴に取り付けることができます。

マルチスクリーン構成の場合、ディスプレイの弱い部分が接触しないように設置できる効果があり、また VESA 規格に対応した壁掛け金具に固定する場合、このピンを使用すると簡単にアラインメントが可能です。

ただし、ディスプレイが前後、または左右に可動する設置金具には使用できません（例：パンタグラフ式、スライド式）。

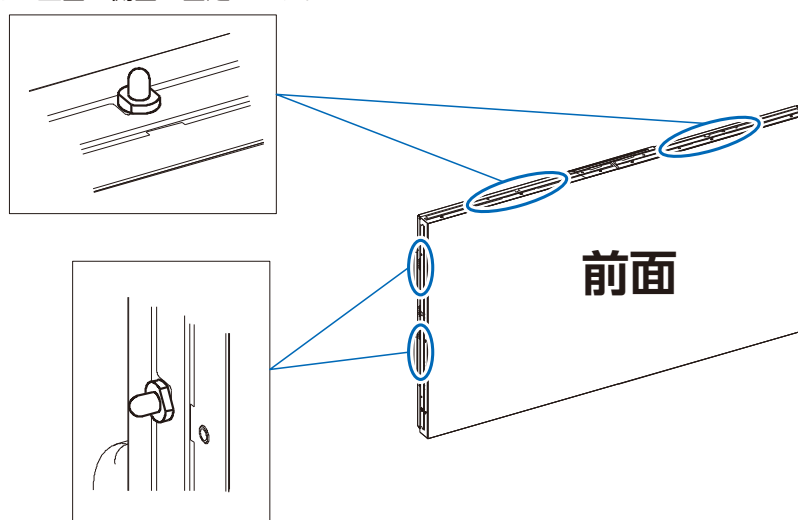


ディスプレイの下側と右側にそれぞれ 2 箇所ずつピンを差し込む穴があります。

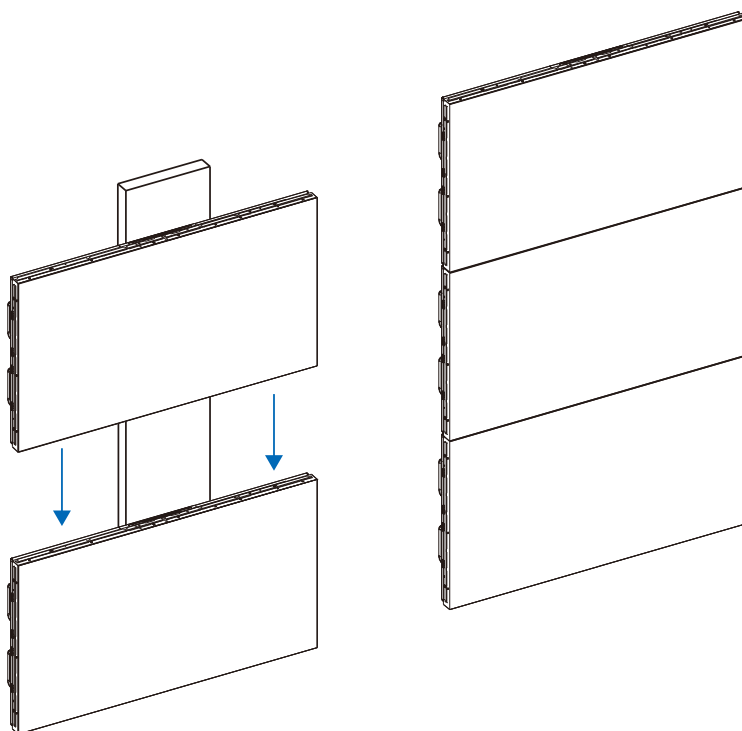


ピンの使用方法是以下のとおりです。

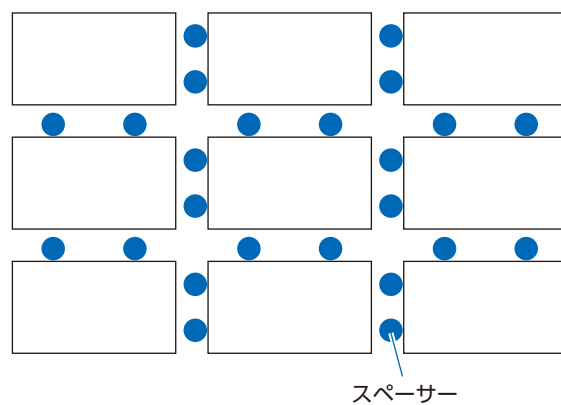
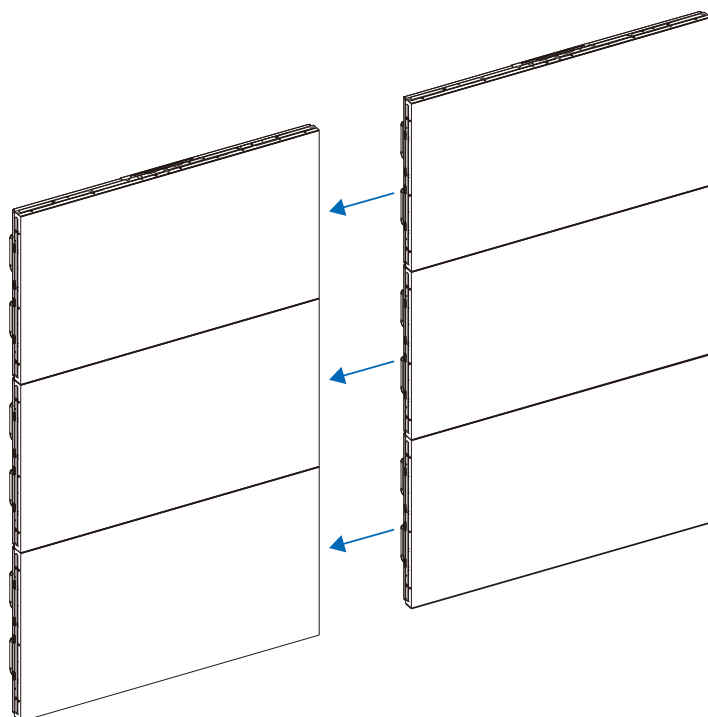
(1) ピンをディスプレイの上面と側面に固定します。



(2) ディスプレイを VESA 壁掛け金具に固定し、上のディスプレイの穴にピンを挿入します。



(3) ディスプレイの側面の穴にピンを挿入し完成です。

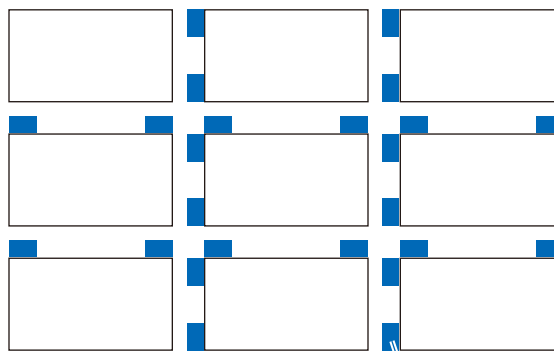
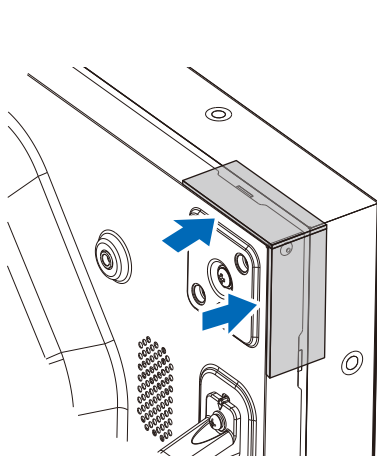


例：マルチスクリーン時のスペーサーの取り付け方

③ スペーサーシート

スペーサーシートはディスプレイ同士の弱い部分が接触しないように設置できる効果があります。

スペーサーシートは裏面の両面テープの剥離紙を剥がし、ディスプレイ背面の縁に合わせて取り付けてください。



スペーサーシート

例：マルチスクリーン時のスペーサーシートの取り付け方

※注意：可動式設置金具を使用する場合

- ディスプレイにピン取り付けると、ディスプレイが可動できなくなります。
- ディスプレイにスペーサー、スペーサーシートを取り付けると、ディスプレイを可動させたときにスペーサー、スペーサーシートがディスプレイと擦れたり当たったりすることがあり、画像に異常を来す原因になります。
- 可動式金具を用いて設置を行うときには、ピン、スペーサー、スペーサーシートを取り付けしないでください。
- 可動式設置金具の例としてパンタグラフ式、スライド式があります。

11. オプション製品の適合情報

オプション製品を選定する際は以下の Web の【適合ディスプレイ】を参照してください。

<https://jpn.nec.com/products/ds/display/option/un-dedicated/index.html>

12. オプション類の取り付け方法

オプション製品の取り付けについては以下の Web で取扱説明書を参照してください。

<https://jpn.nec.com/products/ds/display/option/un-dedicated/index.html>

13. 再梱包して輸送する場合

ディスプレイ周囲にディスプレイクッションが貼られているモデルがあります。

そのディスプレイには必ずディスプレイクッションを貼り付けて輸送してください。

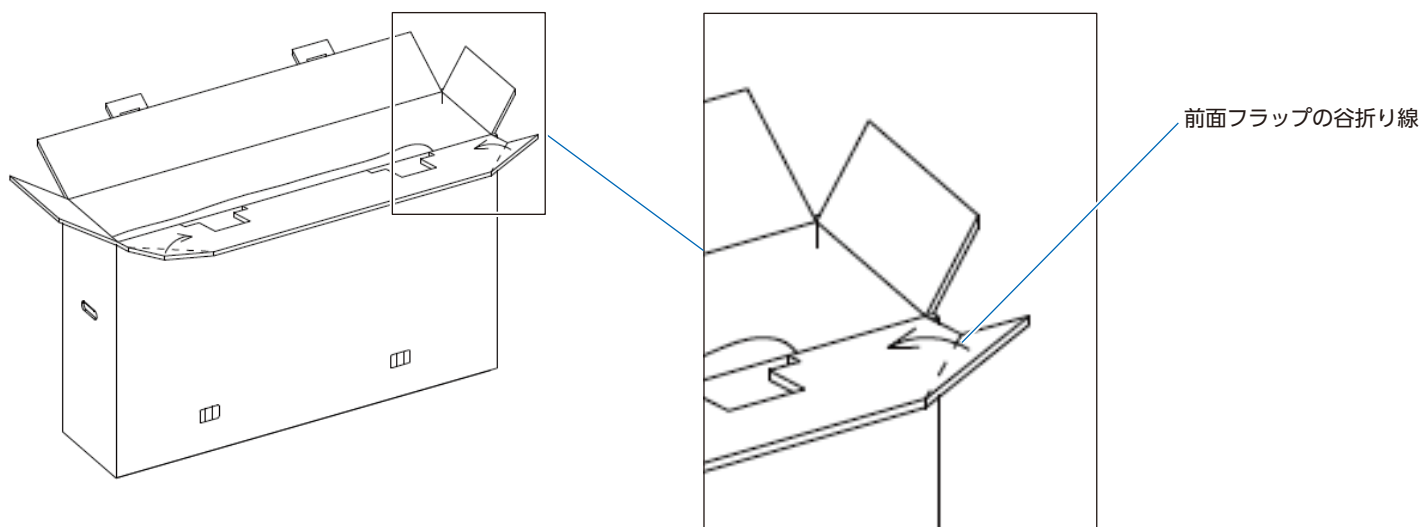
ディスプレイクッションが無い状態で輸送すると、輸送による振動でディスプレイに不具合が発生するおそれがあります。

やむを得ずディスプレイクッションが無い状態で輸送する場合は、カートンの前面フラップの谷折り線を折り曲げて梱包するようにしてください。

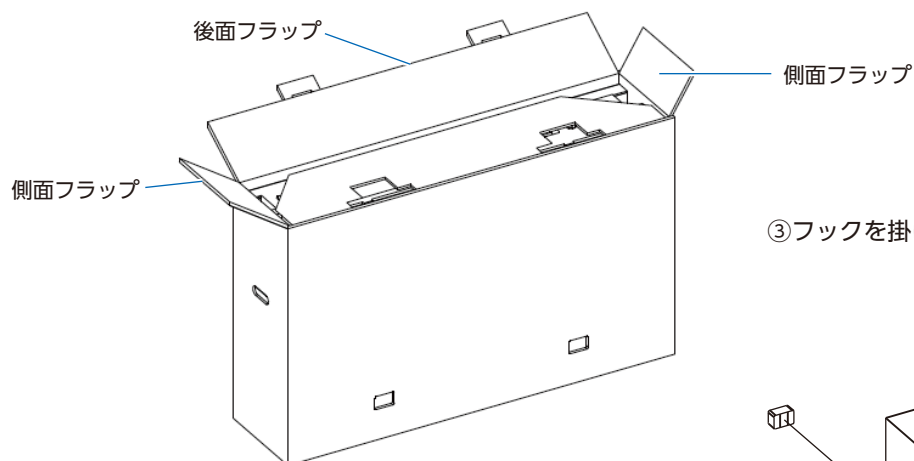
梱包方法は以下のとおりです。

1. ディスプレイクッションが貼られているモデル

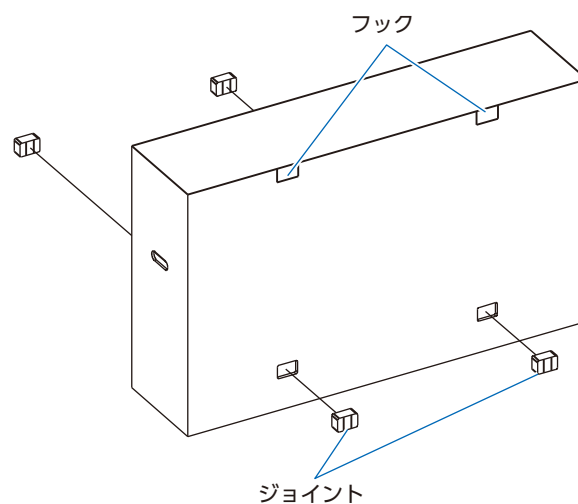
① 前面フラップの谷折り線を折り曲げてください。



② 前面フラップを折り曲げ、側面フラップ、後面フラップの順に折り曲げてください。



③ フックを掛けてジョイントを固定してください。



2. フロントボードが入っているモデル

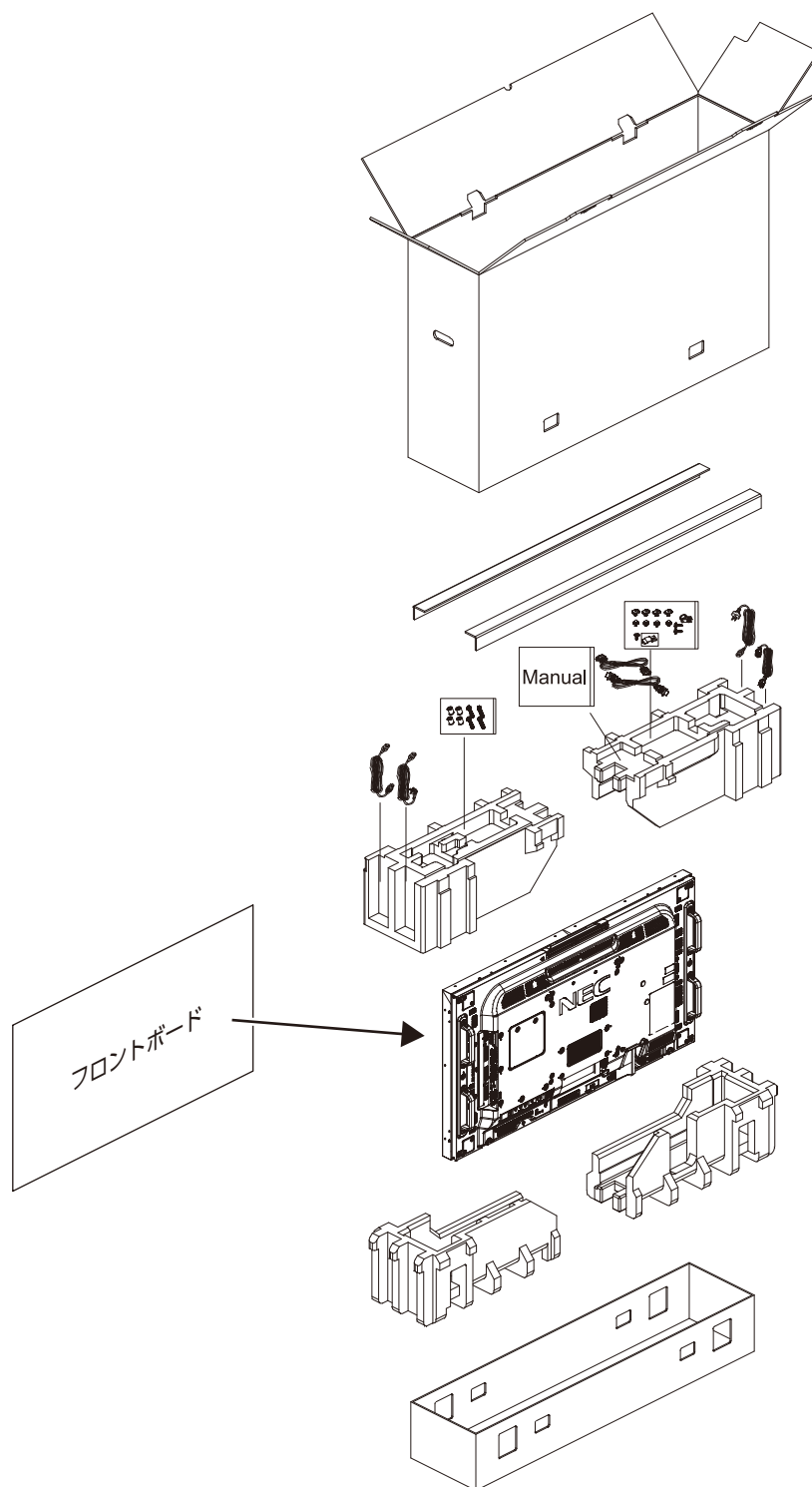
ディスプレイによっては、液晶画面前面にフロントボードが入っているモデルがあります。

そのモデルを再輸送する場合には、必ずフロントボードを入れて輸送してください。

フロントボードは輸送中の衝撃や振動からディスプレイを保護する役割がありますので、フロントボード無しで輸送するとディスプレイに不具合が発生するおそれがあります。

また、フロントボードを入れる際は、先にフロントボードを梱包材（下）に入れた後にディスプレイを梱包材（下）に入れてください。

フロントボードをディスプレイの後に入れるとディスプレイに不具合が発生するおそれがあります。

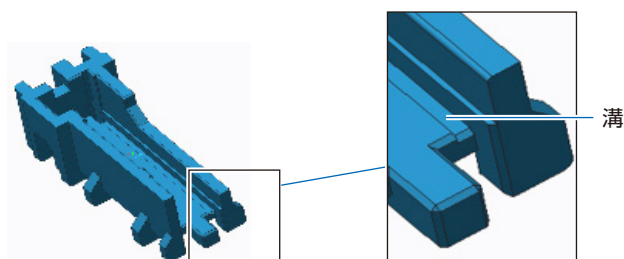


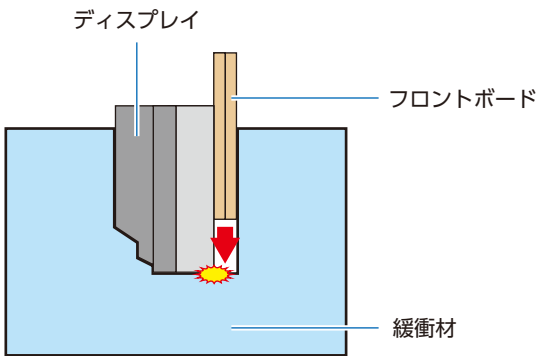
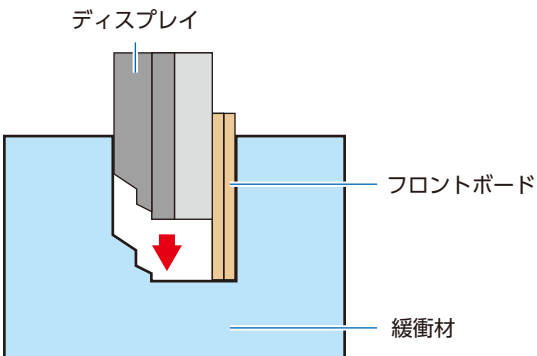
再梱包の手順は以下のとおりです。

- ① 梱包箱（下）に緩衝材を入れてください。



- ② フロントボード（2 枚）を緩衝材の溝に差し込んでください。



NG	OK
フロントボードをディスプレイの後に緩衝材（下）に入 れるとディスプレイに不具合が発生するおそれがありま す。  ディスプレイ フロントボード 緩衝材	(1) 最初にフロントボードを緩衝材（下）に入れ、 (2) 次にディスプレイを緩衝材（下）に入れてください。  ディスプレイ フロントボード 緩衝材

- ③ ディスプレイを保護袋に入れ緩衝材（下）に入れてください。
その他の梱包手順については梱包箱のフラップの図を参照してください。

